

施策評価シート(令和2年度実施施策)

総合計画 体系	政策	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	施策主管課	産業振興課
	施策	4-3	施策名	観光の振興	施策主管 課長名	金子 吉弘
関係課	産業振興課					

1. 施策の目的

対象	①観光客	意図	①多くの方が町に訪れ、町の魅力を感じていただく。
	②町民		②観光関係者はもとより、町民全体におもてなしの心が醸成されていく。

2. 成果指標

指標名	単位	現状値	上段：目標値 下段：実績値				
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
観光客数 (増加)	万人	205	206	207	208	209	210
			186	174	162	153	85
観光ガイドの回数 (増加)	件	56	59	62	65	68	70
			68	83	78	58	0
観光案内件数 (増加)	件	38,067	38,100	38,900	39,700	40,500	41,900
			33,754	29,136	33,834	32,583	21,640

3. 指標の分析(成果が向上した、またはしなかった理由)

新型コロナウイルス感染症の蔓延による緊急事態宣言等、全国的な移動自粛により、観光客が激減した。
新型コロナウイルス感染症の影響等により、数値が減少している。
新型コロナウイルス感染症の影響等により、数値が減少している。

4. 課題に対する取組(今年度重点的に取り組んだ課題)

コロナ禍にあって、感染症対策を取りながら実施できることを実践してきたが、集客事業は実施できず、集客を目的とする観光の限界が見えた。しかしながら、リモートによるミーティング等ICTを活かした取り組みも実践できたので、それをアフターコロナ、ウィズコロナを見据えた取り組みに繋げる。
--

5. 次年度の方向性

令和7年度までの後期観光振興計画に基づき、3つのリーディングプロジェクトを段階的に推し進めていく。そのためには、法人化した観光協会を核として、町内の観光資源、観光関係者との連携を強化していく。段階的に、新たな観光資源を開拓、旧来の観光資源とのタイアップし、「観光資源ネットワーク」化を図る。また、それらを魅力あるものと見せる「見せ方」=情報発信の方法にも注力していく。それにより、広域的に集客を図り、観光利益として関係者へ継続的に還元される組織体制を模索していく。最終的に町民が町の観光を誇れるものとしていく。
---

重点的に取り組む課題

最終目標は、モデルツアーの販売。会津美里町を含めた周辺地域のDMO化。 令和3年度は、アフターコロナを見据えたモデルルートの策定、モニターツアーの計画立案。合わせて、実現可能な組織体制の見直し。
最終目標は、従来型のイベントから脱却し、観光及び商工関係者が潤うような持続可能な集客イベントを実施し、町民が誇れるものにしていく。 令和3年度は、実行委員会方式による従来イベント事業の見直し、新規事業への支援。
最終目標は、インバウンド対策、デジタルDMOを含めた情報発信。 令和3年度は、インバウンド対策、デジタルDMOを含めた従来の情報発信の見直し。より効果的で継続的な情報発信を構築。
①②③を実現可能とする組織づくり(法令、許可関係も含む)、体制づくり、人材ネットワークへの支援策の構築

施策の重点事業

観光誘客事業
観光まちづくり推進事業

## 6. 施策を構成する事務事業

番号	事業通番	事務事業名	令和2年度決算額 (千円)	最終評価結果	
				事業実施の方向性	成果の方向性
1	4351	観光誘客事業	14,394	改善して継続	拡充
2	4358	観光対策事業	23,900	改善して継続	拡充
3	4362	温泉施設管理事業	75,414	廃止・休止又は統合 等を検討	縮小
4	14393	観光まちづくり推進事業	7,153	改善して継続	拡充
5	14417	訪日旅行施策事業	4,033	継続	現状維持
6	14591	温泉施設等利活用事業	69	継続	現状維持